

## 令和5年度 第3回 学校運営協議会議事録

<b>校名</b>	府立泉尾工業高等学校
<b>校長名</b>	永田 夏穂

<b>開催日時</b>	令和6年2月16日(金) 10:00~11:20
<b>開催場所</b>	本校 本館1階 校長室
<b>出席者(委員)</b>	玉城 理絵(会長)・岩田 英樹(委員)・岩崎 一哉(委員)・湯浅 芳昭(委員)
<b>出席者(学校)</b>	永田 夏穂(校長)・宮内 修司(事務長)・片岡 敏哲(教頭)
<b>傍聴者</b>	なし
<b>協議資料</b>	泉尾工業高等学校スクール・ポリシー 令和5年度学校経営計画及び学校評価 令和5年度学校教育自己診断アンケート結果【生徒・保護者・教職員】 令和6年度学校経営計画及び学校評価
<b>備考</b>	なし

### 議事等次第順

開会のことば

#### 1、学校の現状について

- ・泉尾工業高等学校スクール・ポリシー
- ・令和5年度学校経営計画及び学校評価の自己評価について
- ・学校教育自己診断について結果と分析
- ・令和6年度学校経営計画

#### 2、その他

閉会のことば

### 協議内容・承認事項等(意見の概要)

#### 1、学校の現状について

- ・泉尾工業高等学校スクール・ポリシー
- ・令和5年度学校経営計画及び学校評価の自己評価
  - ・今春の年卒業予定者 92 名。転退学により入学時の在籍者数から減少している。
  - 多様な生徒が入学する中、一人一人の実情に応じた対応を行い、中途退学者の減少に努める。

(進路状況)

- ・就職 63 名 大学・短大 6 名 専門学校 13 名 その他 10 名
- ・主体的に進路選択がその他の人数0を目標に減少に努める。

(学校 PR)

- ・中学 3 年生の R6 入学者選抜の進路希望調査では、本校志願者は約 100 名。(昨年の志願者 92 名)

(生活指導)

- ・基本的な生活習慣の確立をめざし、遅刻指導を重点的に取り組んでいる。
- ・今年度、年間遅刻者数を 1200 件以下とする目標を共有し、教員全体で全体で粘り強く指導を行ってきたが、わずかに届かなかった。

(資格取得・検定受験)

・検定・資格取得の取組を推進した結果、今年度、ジュニアマイスターの取得者数 7 名(R4 は3名)

## ・学校教育自己診断について結果と分析

### (生徒用アンケート)

#### 2 学校のルールを守って学校生活をおくっている。【肯定率 95.4%】

・基本的な生活習慣の確立・専門の実習など安全に留意しながら規範意識を持って取り組んでいる。

#### 9 工業に関する知識や技術が身についたと感じている。【肯定率 91.1%】

・各種検定やライセンスの取得に向けた取組や専門教科の学びにおいて知識や技術が身についていると実感している。

#### 12 学校は 1 人 1 台端末を効果的に活用している。【肯定率 81.7%】

・HR 教室・展開教室に電子黒板・単焦点プロジェクターが導入される。次年度は積極的に活用した授業づくりを推進したい。

#### 15 体育祭や文化祭は、楽しく行えるよう工夫されている。【肯定率 80.5%】

・新型コロナウイルス感染防止に係る入場制限も緩和され、行事に向けて取り組んできた事の成果を発表できる機会が増えた。

#### 17 部活動に積極的に取り組んでいる。【肯定率 54.8%】

・コロナ禍時の影響もあり部活動加入率が低下している。

・「部活動大阪モデル」の取組でペアリング校の大正白稜高校と合同で活動している部活動もある。(男子バレーボール部・吹奏楽部)

#### 18 家庭で家族とよく話をする。【肯定率 87.8%】

・学校の様子を家庭でよく話をしており、学習面・生活面のサポートや指導の連携がとりやすい。

### (保護者アンケート)

・昨年に引き続き Google フォームでの回答をお願いしたが、回答件数 34 件と少なかった。

・ホームページを活用し案内の掲載も行ったが、限定的な効果であった。

#### 1 子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。【肯定率 85.3%】

・学校生活の楽しさが伝わる学校づくりができている。昨年度の肯定率 68.0%から大きく向上した。

#### 14 本校の授業参観や学校行事に参加したことがある。【肯定率 73.6%】

・体育祭や文化祭、年2回実施の授業参観にも多くの保護者が来校し、本校の教育活動をご覧いただいた。

・肯定は昨年度の 68%が大きく向上した。

#### 15 本校のホームページをよく見る【肯定率 52.9%】

・ホームページを利用し、連絡事項や教育活動内容を発信しているが、肯定率は低調。

・閲覧を促進する周知、内容の充実などが必要である。

### (教職員のアンケート)

#### 17 各分掌や工業各科、教科の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。【肯定率 78.6%】

・生活指導面では近年教員数が減少していることもあり、科単位でできていた指導が難しい状況にある。

・工業各科と生活指導課、学年の連携など、学校全体で指導する体制づくりをめざす。

## 令和6年度学校経営計画

### ・1人1台端末の活用推進

電子黒板・単焦点プロジェクターが各HR教室に配備され、ICTを活用した授業を行いやすい環境が整った。  
教員の教材研究も含め、1人1台端末の活用推進をこれまで以上に進めていく。

### ・学校活性化に向けた広報活動の充実

活力ある学校づくりのため、生徒数確保は大きな課題であり、学校広報活動の充実に努める。

### ・機能的な学校組織への改善と働き方改革の推進

これまで会議のペーパーレス化、全校TOP掲示板の活用、定時退庁日の設定、時間外の電話の取次ぎなし等を実施。

令和6年度は部活動の働き方改革について重点的に取り組む。

## 2、その他

特になし

(委員からの意見)

・資格取得は就職を希望する生徒にとって有利になるのか。

→在学期間中に資格取得に取り組んだというプロセスを企業から評価いただける事が多い。

・部活動に関する働き方改革についてどのような取り組みがあげられるか。

→部活動指導員の活用(剣道部・軽音楽部)、部活動大阪モデルの実施(男子バレーボール部・吹奏楽部)

・学校教育自己診断(保護者アンケート)の回答数が少ないが、データの信頼性の観点から100件程度の回答が必要である。また、回答される保護者は学校の教育活動に興味関心がある熱心な場合が多く、肯定的な意見の割合が高くなる傾向にある。

## 次回の会議日程

日時	令和6年5月初旬
会場	本校 本館1階 校長室